

04 子ども・子育て家庭の支援			
主管課名	子ども生活部 子ども政策課		
主管課長名	山本 篤志	電話番号	042-481-7639
関係課名 （組織順）	男女共同参画推進課, 保育課, 子ども家庭課, 児童青少年課, 障害福祉課, 子ども発達センター, 健康推進課, 保険年金課, 教育総務課, 指導室, 社会教育課, 公民館, 図書館		
目的	対象	市内にいるすべての人, 市内全域	
	意図	子どもが健やかに成長できる, 多様なライフスタイルに合わせて, 安心して子どもを産み育てることができる	
施策の方向	子どもが健やかに成長し, だれもが安心して子どもを産み育てることができ, 子育てを楽しく感じることができるよう, 子育て支援サービスの充実を図るとともに, 地域全体で支援し, 子育てしやすいまちづくりを推進します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和3年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(04-1 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター（保健センター・子ども家庭支援センターすこやか）を中心として、各家庭状況に応じた事業の利用支援や相談支援などを実施し、妊産婦及び乳幼児並びにその保護者の生活の質の改善・向上や、胎児・乳幼児にとって良好な生育環境の実現・維持を図った。 ゆりかご調布事業において、オンラインによる相談を継続して実施し、コロナ禍における利便性の向上に努めた。 産後ケア事業において、利用できる施設を拡充し、より多くの受入に対応した。 1歳前後の子どもがいる家庭を対象に育児パッケージを支給し、アンケートの実施を通じて子育て支援に関する情報提供や育児相談に対応するファーストバーステータサポート事業を開始し、令和3年度の対象家庭に対しては都の制度に市独自（1万円）を上乗せして実施した。 3歳未満の多胎児がいる世帯に対し、母子保健事業を利用する際の移動に要する費用の補助を行った。また、多胎妊婦及び多胎育児中の世帯を対象とした交流会等や専門職による相談支援事業を実施した。 子どもの健やかな成長に資するため、手当・医療費助成など経済的支援を実施した。また、ひとり親家庭に対し、生活に関する相談、雇用の安定と経済的な自立のための資格取得につながる教育訓練給付や就労支援のほか、支援施策の参考とするため、昨年度に引き続き「ひとり親家庭アンケート調査」を実施した。 困難を抱える子ども・若者に対して、相談・居場所・学習支援事業を一体的に行う子ども・若者総合支援事業「ここあ」を実施した。 子ども家庭支援センターすこやかにおいて、乳幼児交流事業「コロコロパンダ」、屋根のある公園「開放広場」、一時預かり「子どもショートステイ」「すこやか保育」等の事業を実施し、子育て家庭の支援に努めた。 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けている子どもたちの健やかな成長等を図るために、「調布っ子応援プロジェクト」として、プレミアム商品券を配布し、子育て家庭への経済的な支援を行った。 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、「子育て世帯生活支援特別給付金」、「子育て世帯臨時特別給付金」を給付した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「調布っ子応援プロジェクト」の実施について、事業の周知や配布先等について関係部署と連携を図った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者基金について、リーフレットを作成し、寄附の募集及び制度の利用促進を図った。
<p>(04-2 子どもの健やかな成長の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センターすこやか内の児童虐待防止センターを拠点として、相談事業などにより虐待を未然に防ぐとともに、要保護児童対策地域協議会や関係機関と連携し、児童虐待の早期発見、早期対応に取り組んだ。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年直営化した児童虐待防止センターが中心となり、要保護児童対策地域協議会を通して関係機関との連携強化に努めた。 児童虐待の予防的支援モデル事業として、子ども家庭支援センターすこやかと健康推進課が一体となり、また東京都関係部や児童相談所とも連携して、妊娠期からきめ細かなニーズ把握と訪問支援を実施した。 子ども発達センターでは、地域の中核機関である「児童発達支援センター」として、各種事業を通じ、引き続き関係機関との連携強化に努めた。 <p>■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止については、相談事業などにより虐待を未然に防ぐとともに、要保護児童対策地域協議会や関係機関と連携し、児童虐待の早期発見、早期対応に取り組んだ。 誰もが暮らしやすいまちづくりの推進のため、FC東京と連携して行う障害児を対象とした「あおぞらサッ

カースクール」を、新たに実施した交流会を含め計9回開催した。また、余暇活動支援事業（ほりで〜ぶらん）においてもFC東京と連携したサッカープログラムを取り入れた。

②調布のまちの魅力発信

・子育てに関する行政情報と民間発信の情報を一元化した子育て応援サイト「コサイト」を通じて、「調布で子育て」の魅力を発信した。「Web版赤ちゃんおでかけ安心まっぷ」について情報を発信した。

(04-3 保育サービスの充実)

- ・保育園待機児童対策として、令和4年4月1日の開設に向けて、認可保育園1園の誘致・整備により、合計80人の定員拡大を図った。
- ・市内全ての認可保育園と地域型保育事業に対して、子ども・子育て支援法に基づき、保育の様子や運営内容、法令遵守の状況、給付費の執行状況等チェックするため指導検査を実施し、保育アドバイザーの巡回による運営に係る相談・支援ともあわせて、保育の質の維持・向上に努めた。
- ・学童クラブ入会保留児童対策として、布田小学校と多摩川小学校（移設）について、学校校舎増築に併せて学童クラブを整備するため、施設設計を教育委員会と一体的に実施した。
- ・教育委員会と連携し、布田小学校と第二小学校での余裕教室の活用に向けた調整を行い、学童クラブ定員の時限的な措置の継続につなげた。

①横断的連携による施策の推進

・保育施設における新型コロナウイルス感染症対策について、新型コロナウイルス感染症対策担当や健康推進課との連携を図った。

<令和3年度における施策の成果についての総括>

- ・乳幼児及び義務教育就学児を養育している子育て家庭に対し、医療費の一部助成を実施することで、健康の保持と健やかな育成を図るとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。
- ・児童虐待防止・早期発見のための相談体制の強化を図り、児童虐待防止センターの安定的な運営を図るために、市の直営化を行った。
- ・日常生活を営むうえで支障があるひとり親家庭に対し、一定期間、ホームヘルパーを派遣し子どもの安全確認、食事、生活面等の支援を実施した。
- ・母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭の自立支援事業として延べ885件の相談を受け、36件の就職につながった。また、ひとり親家庭に対し、母子家庭等自立支援給付金（14件）、対象を拡大した通信制高校卒業支援事業給付金（5件）を給付した。ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金及びひとり親家庭高校卒業程度試験合格支援促進給付金事業では、4人が学習支援を利用し、うち2人が全科目合格した。これらの取組により、ひとり親家庭の福祉の増進を図った。
- ・経済的な困難を抱える家庭の子どもを対象に、進学や就職につなげるため、子ども・若者総合支援事業「ここあ」にて、学習支援や相談を行うなど、子どもの貧困連鎖の防止に向けて取り組んだ。学習支援において、大学生ボランティアは学習だけでなく、生活等についてのアドバイスも行い、中学3年生全56人の高校等への進学につながった。
- ・認可保育園1園の誘致・整備による80人の定員拡大を図ったことに伴い、待機児童数が16人となった。
- ・「公立保育園における民間活力の活用」について、公設民営保育園に関する方針に基づき、令和4年4月から公私連携型保育所へ1園移行したことに伴い、財源の確保が図られた。
- ・妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を推進するため、ゆりかご調布事業と産業ケア事業を継続した。また新たに、育児等の負担が大きく孤立しやすい多胎児家庭への支援や、1歳を迎える子どもを育てる家庭への支援を行った。
- ・令和3年4月から委託した深大寺児童館の児童館事業について、民間事業者のノウハウや専門知識を活用した円滑な運営を推進した。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値			目標値 令和4年度	達成状況※ 令和3年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
1 子育て支援サービスに満足している市民の割合	59.4 (H30)	%	61.2	64.7	68.3	70.0	○
2 子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	37.6 (H30)	%	47.3	47.5	49.8	50.0	○
3 保育施設整備率	49.4 (H30/4/1時点)	%	51.7 (R2/4/1時点)	55.6 (R3/4/1時点)	57.6 (R4/4/1時点)	55.0	◎
【特記事項】							

※R3年度の達成状況は、以下の区分により記号を記入

- ◎：目標値を達成
- ：前年度より向上した
- ▼：前年度より低下した
- ⇒：前年度と同じ
- ：数値未把握（調査未実施など）

◆まちづくり指標の目標達成見込み（令和4年度見込みを含めた現基本計画期間における達成度）

- ・達成見込みを次の区分により記号を記入
 - ◎：「目標値達成に向け順調に推移」
 - ：「目標値達成は現状難しいが、前年度より向上する見込み」
 - △：「目標値達成は現状難しく、前年度と同等又は悪化する見込み」

まちづくり指標	達成見込み	要因・課題 (目標達成・未達成の要因・次期基本計画に向けた課題等)
1 子育て支援サービスに満足している市民の割合 (目標値：70.0% 現状値：68.3%)	◎	・保育園待機児童対策や子ども家庭支援センターすこやかを中心とした子育て支援サービスの充実に努め、令和3年度で達成率97.6%となり、令和4年度で達成の見込み。
2 子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合 (目標値：50.0% 現状値：49.8%)	◎	・市報、HP、子育て「元気に育て!!調布っ子」などを通じた広報活動、市長によるいじめ・児童虐待防止に向けたメッセージ動画などの展開により、虐待防止ホットラインの認知が広がり令和3年度で達成率99.6%となり令和4年度達成の見込み。
3 保育施設整備率 (目標値：55.0% 現状値：57.6%)	◎	・認可保育園の開設誘致と認証保育所の認可化等を進め、令和2年度（R3/4/1時点）で達成済。

2 令和3年度の振り返り — 評価（CHECK）

◆施策の成果向上に向けて、令和3年度に実施した取組に対する評価
※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合評価

総合評価	A	S：「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A：「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B：「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D：「実施した取組において成果が得られなかった。」
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園においては、保育園や保健所と連携して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行い、事業を実施することができた。 ・保育園への見学が難しいなか、コサイトにおいて各保育園の情報提供を行った。 ・学童クラブにおいては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行い、通常どおり開設した。 ・調布っ子応援プロジェクトにおいて、商品券の配布、応援給付金の給付により、子どもたちの健やかな成長を支援することができた。 	

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における施策の取組状況

- ・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

計画どおり・計画より進んだ取組等 (現基本計画で予定した成果が十分得られる)	今後の取組の方向 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①待機児童対策（0歳児定員割れへの対応） ②学童クラブ入会保留児童対策 ③母子保健の推進（切れ目ない支援の推進のための相談支援事業を実施するとともに、保健師の地域における相談をはじめとした様々な活動により、地域における専門機関等とのネットワークの構築を推進する） ④子どもの貧困対策の推進 ⑤児童発達支援センターとしての障害児支援の推進	①公立保育園の年齢別定員の見直し、年度限定型保育事業の実施など ②入会要件などの見直しの検討、定員枠の検討、放課後子供教室事業（ユーフォー）の活用、新設学童クラブの整備 ③とうきょうママパパ応援事業等の実施による相談・支援体制の強化を図るとともに、地域に向いた相談活動等により地域ネットワークの強化を図る。 ④アンケートによる情報収集、経済的な支援の検討 ⑤障害児通園事業においては、給食提供体制の強化のため、事業委託先の調布市社会福祉事業団に栄養士を配置する。
計画より遅れた取組等 (現基本計画で予定した成果が得られない)	遅れの理由や次期基本計画に向けた対応課題等 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における施策の成果についての総括

・保育園待機児童対策については、施設整備率について目標達成しており、待機児童数についてはゼロとならなかったものの大幅に縮減していることから、計画期間内での施策の成果はあった。

・令和元年10月から、義務教育就学児医療費助成制度について、小学4年生から6年生を対象とした所得制限を撤廃し、経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境を整えた。

・学童クラブの入会保留児童対策として、令和2年度に障害児学童クラブを整備するなど、市内で2370人の学童クラブの定員を確保した（令和4年4月1日時点）。

また、学童クラブにおいては緊急対応による定員超過受入れなどによる入会保留児童対策、放課後子供教室事業ユーフォーにおいては入退室システムの導入や一部施設において開設時間を試行的に18時に延長するなどの施策を推進し、ソフト面においても児童が放課後を安全・安心して過ごせる魅力ある放課後の居場所や環境の整備を行った。

・子どもの虐待防止対策について、庁内関係各課との連携を深め、発生後への対応だけでなく、未然に防ぐための体制構築や人材育成を図った。

・妊娠前から子育て期にわたる切れ目ない支援について、ゆりかご調布事業と産後ケア事業の内容充実と拡大を図り、多胎児家庭や1歳を迎える子どもを育てる家庭への支援を行った。

評価	A	<p>【評価区分】</p> <p>現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）に対する進捗状況について、S～Dの5段階で評価</p> <p>S：「計画以上に進捗した。予定以上の取組成果が得られた。」</p> <p>A：「計画どおりに進捗した。予定した取組成果が得られた。」</p> <p>B：「概ね計画どおりに進捗した。一定の取組成果が得られた。」</p> <p>C：「進捗にやや遅れがみられた。あまり取組成果が得られなかった。」</p> <p>D：「進捗に大きな遅れがみられた。ほとんど取組成果が得られなかった。」</p>
----	---	---

3 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況【A】（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※次期基本計画における重要な視点となる「デジタルトランスフォーメーション（DX）・スマートシティ」、「カーボンニュートラル」、「産学官連携」のほか、施策横断的なテーマである「共生社会の充実（パラハート）」、「安全・安心（防災・減災・防犯・感染症対策）」、「ソフト・ハードが一体となったまちづくり（中心市街地整備、地域別まちづくり、都市計画道路整備）」に関する状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流等	①デジタル手続法（令和元年5月31日公布）により、デジタルファースト原則などデジタル3原則の下、地方公共団体の行政手続のオンライン化が努力義務となった。	①学童クラブ入会申請業務のデジタル化を推進していく。 保育園については、令和5年度から入園申込等の手続において、マイナポータルを利用した子育てワンストップサービスによる電子申請の導入を予定しているが、今後は申請手続全般のデジタル化や入園選考へのAI導入等を検討していく。
自治体の動向等 東京都や近隣	②冊子の母子健康手帳と並行して利用できる母子手帳アプリや、LINEなどによるプッシュ型の育児情報サービスなど、デジタルを活用した妊娠期・育児期の支援事業を導入している自治体の事例がある。	また、母子保健に係る各種電子申請対応について、東京都市長会の多摩地域デジタル化推進におけるBPRの取組なども活用し、近隣自治体とも課題や方策を共有しながら、市民の利便性向上と共に、AIによる文字起こしなど職員の業務負担の軽減にもつながる方策を検討する。 子ども発達センター事業の利用手続や「iファイル」等のデジタル化を推進していく。
その他		②先行導入自治体による効果や課題事例を検証し、市の状況に即したサービスの導入について検討していく。

◆施策を取り巻く状況【B】(国、東京都・近隣自治体の動向など)を踏まえた取組の方向

※上記の施策を取り巻く状況【A】の項目以外で、法改正・制度改正などの状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	<p>①現在、母子保健法に基づき、妊産婦や乳幼児の保護者の相談を受ける「子育て世代包括支援センター」と、児童福祉法に基づき、虐待や貧困などの問題を抱えた家庭に対応する「子ども家庭総合支援拠点」が併存しているが、支援機能を一本化し、自治体に設置の努力義務を課す。2024年4月以降の設置を目指し、児童福祉法と母子保健法が改正となる予定。(こども家庭センターの設立)</p> <p>②国では家族の世話や介護をしている子どもたち「ヤングケアラー」の支援する制度を整備する意向。</p>	<p>①現在市の「子育て世代包括支援センター」は保健センター(健康推進課)と子ども家庭支援センターすこやかで機能・運営しているが、連携も十分に図れており、切れ目ない支援が実施されている。今後これらを一つにするためには施設と人員の両面で課題があり、慎重に検討する必要がある。</p> <p>②ヤングケアラーについて、関係部署と連携して、実態を把握して、支援することが必要。</p> <p>③東京都のモデル事業に参加して、子育て家庭への積極的な訪問や関係機関との連携等を通じて、児童虐待の予防的支援・早期対応の抜本的な強化が必要。</p> <p>④実施体制が整った事業から新たに開始し、事業を通じて調布市としての切れ目ない相談・支援体制の構築を図る。相談・支援を担う専門職の配置が課題。</p> <p>⑤令和5年度からの実施に向けて、条例改正や東京都による補助内容の動向把握、4年目以降の財源についての協議などが必要。</p> <p>⑥国や東京都の待機児童対策に係る施策の有効活用及び事業者との連携が必要。</p>
東京都や近隣自治体の動向等	<p>③子育て家庭への予防的支援により、児童虐待の未然防止の徹底を図るために、予防的支援推進とうきょうモデル事業を令和3年度から実施した。</p> <p>④とうきょうママパパ応援事業として、ファーストバースデーサポート事業や多胎児家庭支援事業など新たな事業を実施し、既存の母子保健事業の隙間をなくすような相談支援体制の構築を進めている。また、予防的支援事業をモデル的に実施し、抜本的な児童虐待の未然防止のための相談支援体制の充実に取り組んでいる。</p> <p>⑤東京都から、高校生世代は生涯にわたる健康づくりの基礎を培う大切な時期であり、自らの健康をコントロールし、改善できるよう支援することを目的として、令和5年度から高校生等を対象とした医療費助成を実施することが打ち出された。助成開始から当初3年間は、東京都が全額補助。令和4年度に高校生等医療費助成を実施している多摩地域の自治体は3市。</p>	
その他	<p>⑥保育園の待機児童を解消すべく、待機児童の状況に応じたソフト面での対策が求められている。</p>	

施策04「子ども・子育て家庭の支援」に関連する基本計画事業

計画コード	12	重点P	-	
事務事業	ひとり親家庭等への支援		総合戦略 ●	
所管部署	子ども生活部 子ども家庭課 相談係			
事業概要	ひとり親家庭の生活の安定や向上及びその子どもの貧困の連鎖を防止し、ひとり親家庭の福祉の増進を図るため、ひとり親家庭、ひとり親家庭の20歳未満の子ども、ひとり親家庭となることが想定される親及びその関係者に対し、以下の事業を行う。 ・日常生活や育児等に関する様々な相談 ・子育てサービスに関する情報提供、就労支援等 ・進学や就職につなげるための学習支援、経済的な自立と知識や資格の取得にとどまらない自己有用感の向上を目指す支援			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○子育て支援サービス相談員(3人)、母子・父子就労支援専門員(2人)の配置 ○ひとり親家庭の学習・相談支援事業の実施 ○高卒認定試験合格支援・給付金事業の実施 ○通信制高校卒業支援給付金支給事業の実施	○子育て支援サービス相談員(3人)、母子・父子就労支援専門員(2人)の配置 ○ひとり親家庭の学習・相談支援事業の実施 ○高卒認定試験合格支援・給付金事業の実施 ○通信制高校卒業支援給付金支給事業の実施	○子育て支援サービス相談員(3人)、母子・父子就労支援専門員(2人)の配置 ○ひとり親家庭の学習・相談支援事業の実施 ○高卒認定試験合格支援・給付金事業の実施 ○通信制高校卒業支援給付金支給事業の実施	○子育て支援サービス相談員(3人)、母子・父子就労支援専門員(2人)の配置 ○ひとり親家庭の学習・相談支援事業の実施 ○高卒認定試験合格支援・給付金事業の実施(2人が全科目合格) ○通信制高校卒業支援給付金支給事業の実施(5人)
事業費(千円)		39,954	43,514	40,364
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響 実績評価 ◎			
説明	相談支援事業全体の延べ相談延回数6249回(内ひとり親家庭は194人、延べ相談回数2841回)、学習支援全体の延べ利用者は3445人(内ひとり親家庭の子の登録者数65人、延べ利用者数は1984人)であった。 新型コロナウイルス感染拡大防止による、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出の際には、利用人数を制限したが、郵送や電話での支援を継続することで、感染防止に配慮しながら事業を止めることなく実施した。 また、学習支援にあたっては、集合型のため一部の利用人数を工夫しながら学生ボランティアとの1対1での指導体制を確保し、切れ目のない学習となるよう学生ボランティアの確保・育成に努めた。 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金及びひとり親家庭高校卒業程度試験合格支援促進給付金事業では延べ33回の学習支援を行い、学習支援を利用した4人のうち2人が全科目合格を果たした。 通信制高校卒業支援給付金支給事業は対象拡大の結果、5人から利用申請があった。			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	各種手当の申請時等、あらゆる機会を捉えて、ひとり親家庭の状況把握に努め、支援が必要な家庭に対し、関係機関との丁寧な連携を図りながら、各種サービスの利用につなげる。 学習支援事業については新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら集合型の学習支援を継続する。緊急事態宣言下での時間短縮や1部屋における人数制限等、情勢に合わせた対応に努めながら影響を最小限に抑え、また、学習習慣がないことや家庭環境が整っていない等、支援が必要な子どもの利用と学習習慣の定着につながるよう、学校をはじめとする関係機関との連携の強化を図っていく。事業の拡大を図るためには、1日あたりの定員を増員し、定員に応じた学生ボランティアを確保する必要があるため、引き続き学生ボランティアの確保に努める。			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策04「子ども・子育て家庭の支援」に関連する基本計画事業

計画コード	13	重点P	②	子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち
事務事業	出産・子育て応援事業			総合戦略 ●
所管部署	福祉健康部 健康推進課 健康支援係			
事業概要	<p>すべての子育て家庭に対し妊娠期から専門職が関わることにより、出産・子育てに関する不安を軽減し、各家庭の状況に応じて、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うことで、妊婦や乳幼児及びその保護者の健康の保持及び増進を図るため次の事業を行う。</p> <p>①妊婦に対する母子健康手帳交付及びゆりかご調布面接を実施。保健師等による相談、サービス等の情報提供を行い、育児ギフトを配付。②出産後1年以内の母子等に対して産後ケア事業を実施。医療機関や助産所に委託し、心身のケアや育児のサポート等の支援を実施。③健診等行政が関わる機会が少ない1歳前後の子育て家庭に対し、アンケートの実施を通して子育てに関する情報提供や必要な支援につなげる。対象者には育児パッケージを配付。④多胎児を養育する家庭に対して、保健センター等の利用に使う移動経費の補助や多胎児家庭同士の交流会や専門職による相談を行い、身体的・精神的負担の軽減を図る。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○妊婦の全数を把握し、すべての子育て家庭に対し切れ目ない支援を行う入口とする。 ○支援が必要な妊婦、子育て家庭を早期発見し早期に介入することで虐待の予防につなげる。	○ゆりかご調布事業の実施 ○産後ケア事業の実施	○ゆりかご調布面接の実施 対面面接及びオンライン面接の実施 ○産後ケア事業 ・デイスリーブ型及びショートステイ型(宿泊型)の実施 ○ファーストバースデーサポート事業の実施 ○多胎児家庭支援事業の実施	○ゆりかご調布面接の実施 ・対面面接及びオンライン面接の実施 ○産後ケア事業 ・デイスリーブ型及びショートステイ型の実施 ・実施施設の拡充 ○ファーストバースデーサポート事業 ・アンケートの返送があった家庭に育児ギフトを送付 ○多胎児家庭支援事業 ・移動経費の補助 ・多胎児家庭交流事業の実施
	事業費 (千円)	19,940	100,516	64,513
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	<p>健康推進課と子ども家庭支援センターすこやかににおいて、保健師等による、ゆりかご調布面接を妊婦に対して行った(面接者数:1746人)。保健センターでは、コロナ禍での不安や体調面等で来所が難しい方を対象にオンラインによるゆりかご調布面接を行った(面接数:51人)。妊婦面接実施率は約9割を維持し、事業の目的である妊娠期からの早期支援やサービスの提供ができています。産後ケア事業については、令和3年度に実施施設を1箇所増やしたことで市民の選択肢が広がった。ファーストバースデーサポート事業では、アンケートの回答率が8割強あり、回答の中で顕在化したニーズに応じた支援につないでいる。多胎児家庭支援事業では、新型コロナウイルス感染症拡大のため交流会を中止したが、移動経費補助の対象家庭に訪問や面接を行い、サービスの案内や必要な支援を行った。</p>			
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>妊娠期からの切れ目ない支援を継続していくとともに、新型コロナウイルス感染防止対策にも継続して取り組む。ゆりかご調布面接では来所面接のほか、オンラインでの相談を継続して全対象者の面接を目指す。</p> <p>産後ケア事業ではアウトリーチ型を開始するとともに、新たに利用可能となった施設においてもサービスの均質化を図り、市民への事業の周知を行う。</p> <p>ファーストバースデーサポート事業、多胎児家庭支援事業においては、事業の周知や円滑な運営に努める。新たに把握した支援対象者へは、必要な支援につないでいく。今後も母子保健サービスを充実させていくとともに、地域のネットワークの強化を図っていく。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策04「子ども・子育て家庭の支援」に関連する基本計画事業

計画コード	14	重点P	-	
事務事業	児童虐待防止センター事業の推進		総合戦略 ●	
所管部署	子ども生活部 子ども政策課 児童虐待防止センター			
事業概要	<p>子ども家庭支援センターすこやかに、児童虐待防止センターを設置し、市民からの緊急的な相談に応える窓口として「すこやか虐待防止ホットライン」を活用して、虐待を防止するとともに、子育てに不安を持つ親子を積極的に支援する。また、児童虐待に関する相談や通報の内容に応じて、児童相談所などの関係機関と連携し、迅速で適切な対応を行う。そのほか、保護を要する児童等への支援に関するネットワークの強化を図るため、調布市要保護児童対策地域協議会を運営する。令和3年度からより安定的な運営及び相談体制の強化を図るため、市の直営とした。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○いじめや虐待の相談・通報に応じ、関係機関と連携した支援・ケアを行う	○いじめや虐待についての相談への対応(すこやか虐待防止ホットライン)	○いじめや虐待についての相談への対応(すこやか虐待防止ホットライン)	○いじめや虐待の相談・通報に応じ、関係機関と連携した支援・ケア
	○オレンジリボンキャンペーン等の虐待防止対策の推進	○オレンジリボンキャンペーン等による児童虐待防止の周知及び啓発	○オレンジリボンキャンペーン等による児童虐待防止の周知及び啓発	○オレンジリボンキャンペーン等の虐待防止対策の推進
	○調布市要保護児童対策地域協議会の運営により、関係機関とのネットワークの強化	○調布市要保護児童対策地域協議会の運営	○調布市要保護児童対策地域協議会の運営 ○市直営化	○調布市要保護児童対策地域協議会の運営により、関係機関とのネットワークの強化 ○予防的支援事業の実施
事業費 (千円)	32,034	18,571	15,959	
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響 実績評価 ◎			
説明	<p>新規児童虐待相談件数712件(前年度675件)、虐待防止ホットライン受付件数65件(前年度95件)となり、新規児童虐待相談件数が増加した。一方で、虐待案件の訪問回数は、コロナ禍の影響により訪問を控え、電話やオンライン対応などに切り替えた結果、5423件(前年度6307件)であった。</p> <p>児童虐待に関する相談・通報などに対応し、児童相談所や各関係機関と連絡調整し、保護を要する児童の支援を適切に行った。また、母子保健部門との定期的な情報共有を継続した。</p> <p>市内公立小中学校の児童生徒及び保護者を対象にチラシを配布し、虐待の相談窓口を周知した。また、11月にオレンジリボンキャンペーンとして児童虐待防止のPRを実施した。</p> <p>要保護児童対策地域協議会の体制強化の取組として、11月に庁内関係職員向けに啓発研修を実施した。</p> <p>令和3年度から3年間を期間とした、児童虐待防止に関する予防的支援(東京都モデル事業)について、東京都及び東京都医学総合研究所等と連携し、事業を実施した。</p>			
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>要保護児童対策地域協議会を通じて関係機関との連携を強化するとともに、子どもが虐待を受けている疑いがある場合、誰もが通報しやすい環境づくりを推進する。</p> <p>児童虐待に関する相談・通報に対しては、ケース会議等で話し合いながら、事例に沿った迅速で適切な対応を行う。</p> <p>市区町村の役割である虐待の未然防止に東京都と連携し取り組んでいく。</p> <p>令和3年度から3年間を期間とした、東京都のモデル事業として予防的支援事業を実施する。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な不安やストレスなどによる児童虐待のリスクが高まっており、要保護児童対策地域協議会をはじめとする諸機関との連携を十分に図りながら、子どもの安全確保に努める。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策04「子ども・子育て家庭の支援」に関連する基本計画事業

計画コード	15	重点P	②	子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち
事務事業	待機児童対策の推進			総合戦略 ●
所管部署	子ども生活部 子ども政策課 子ども政策係			
事業概要	<p>児童福祉法第24条第1項の規定により、「市町村は、保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児その他の児童について保育を必要とする場合において、当該児童を保育所において保育しなければならない。」と定められている。しかし、保育園の申込みを行ったにもかかわらず、定員に空きがなく、入園することができなかった児童（いわゆる「保育園待機児童」）が多い状況が続いている。こうしたことから、市の未就学児童人口の推移や子育てニーズ等を踏まえて、認可保育園等を整備・誘致するほか、多様な保育ニーズに対応するためのあらゆる方策を活用し、保育を必要とする児童の受入枠を拡大することで、待機児童対策に取り組む。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○待機児童対策として、民間認可保育園や認証保育所等の整備・誘致による受入枠の拡大	○認可保育園の開設誘致1園 ○年度限定型保育事業の実施 (100人規模の受入数拡大)	○認可保育園の開設誘致1園 ○年度限定型保育事業の実施 (100人規模の受入数拡大)	○認可保育園の開設誘致1園(80人) ○年度限定型保育事業の実施(10人) (90人規模の受入数拡大)
事業費 (千円)		329,663	349,645	332,790
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	<p>令和4年4月1日開設に向けた認可保育園の整備を1園実施し、80人の定員拡大につなげた。また、当該年度限定で待機児童の多い1歳児及び2歳児を預かる「年度限定型保育事業」の実施(5園10人)、既存認可保育園の定員変更(1歳児及び2歳児14人の定員増)、企業が従業員の多様な働き方等にに応じて保育サービスを提供できる「企業主導型保育事業」の活用等あらゆる手法を用いて、保育を必要とする児童の受入機会の拡大に努めた。</p>			
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>令和4年度開設に向けては、認可保育園の整備を1園実施した。今後については、「第2期調布っ子すこやかプラン(調布市子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、待機児童数の状況を踏まえ、整備を検討し、年度限定型保育事業や既存認可保育園の定員変更の検討のほか、企業主導型保育事業の空き定員について保育課窓口での案内等を継続して実施する。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策04「子ども・子育て家庭の支援」に関連する基本計画事業

計画コード	16	重点P	②	子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまち
事務事業	学童クラブ施設の整備			総合戦略 ●
所管部署	子ども生活部 児童青少年課 放課後児童係			
事業概要	<p>平成27年の児童福祉法の改正に伴い学童クラブの対象学年が6年生までに拡大されたことや学童クラブに対する需要の高まりにより地域によっては、希望者が入会できない状況にある。また、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」に定める児童1人当たりの育成面積や1支援当たりの児童数の基準を満たしていない施設がある。</p> <p>これらを踏まえ策定した「子ども・子育て支援事業計画」に位置付けた確保方策を基本としつつ、育成環境の改善等に向け必要に応じた施設整備を行う。なお、整備に当たっては、小学校校舎内又は敷地内（敷地分割を含む）、民間の所有地などを有効活用することを検討する。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○近年、入会希望者の増大等による育成環境の改善が必要な地域が増加していることから、計画的に施設を整備	○学童クラブ施設の整備 ・設計 1箇所 ・整備 1箇所 ○学童クラブ需要の検証	○学童クラブ施設の整備 ・設計 1箇所 計画外(多摩川小) ○学童クラブ需要の検証	○学童クラブ施設の整備 ・設計 2箇所(教育部と一体) (内、1箇所計画外) ○学童クラブ需要の検証
事業費 (千円)		114,982	14,100	0
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度 取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	<p>滝坂・緑ヶ丘小学校地域の学童クラブ整備について、建物賃借に向けて地権者との交渉を進めた。布田小学校での空き教室の活用に向けた調整を教育部と行ったことで、学童クラブ定員の時限的な措置の継続につなげた。</p> <p>第二小学校地域の学童クラブ整備について、建物賃借に向けた地権者との交渉を進め、契約・諸手続を行った。</p> <p>布田小学校と多摩川小学校(計画外)について、学校校舎増築に併せて同建物内に学童クラブを整備するため施設設計を教育部と一体的に実施した。</p>			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>令和4年度においても、必要度や緊急度を踏まえた計画的な施設整備を推進するとともに、基本計画に位置付けた地域候補地の選定等、開設に向けた準備を進める。</p> <p>また、35人学級に伴い、学校教室整備や校舎増築が見込まれる際、学童クラブ整備も併せて実施することも含めて教育部と連携のうえ検討していく。</p>			